

人道的地雷撤去活動支援

“カンボジアにおける村落開発を促進するための地雷の調査と撤去”

第四四半期報告書: 2022年1月-3月



**MAG (Mines Advisory Group)
CAMBODIA**

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tom Pong I,
Khan Chamkamorn, Phnom Penh, Cambodia

Tel: +855 (0)23 215 115

www.maginternational.org/Cambodia

写真: 中型地雷ウルフが2021年9月にバタンバン州コッス・クラロー郡で地雷撤去を実施している様子

事業概要

数十年に及ぶ内戦と地域紛争の結果として、カンボジアでは1992年に活動を開始して以来、MAGは、11,800万平方メートル以上の影響を受けたコミュニティにおいて、200万人以上の老若男女に直接受益するように土地を安全にし、カンボジアの地雷撤去セクターを主導する貢献をしてきました。経済的なショックに非常に脆弱な人々の80%以上が農村生活しているこの国において、地雷の存在が、地雷の影響を受けたコミュニティの貧困削減と開発イニシアティブを妨げています。MAGの活動は、土地を安全にし、生産的に使用できるようにすることで、カンボジア王国政府を支援するもので、2025年までに地雷を無くすイニシアティブを支援しています。

“カンボジアでの村落開発を促進するための地雷の調査と撤去”事業のために、テラ・ルネッサンスから12ヶ月分の寛大な活動資金の提供によって、MAGは、バタンバン州の優先地域での技術的な調査や撤去を実施する機械活動部隊1チームを展開しています。



目的

土地を安全にすることによって、カンボジアの農村において地雷によって影響を受けたコミュニティの貧困削減と社会経済的発展に貢献する。

目標

コミュニティの生計の機会を最大化するために、地雷埋設が推定される地域の機械による調査と撤去を支援する。



事業の更新

2021年7月に提出した第一四半期報告書において、MAGは、ラタナキリ州での“Digger-250”という機械を扱う機械操縦部隊による撤去の必要性が出たため、テラ・ルネッサンスに“中型地雷ウルフ”という機械を使う機械操縦部隊のバタンバン州での支援の継続を依頼しました。テラ・ルネッサンスは、MAGの依頼を承諾し、2021年7月以降は、“Digger-250”から“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊への支援へ切り替えて頂きました。MAGは、テラ・ルネッサンスの支援と柔軟性に多大な感謝をし続けています。

プロジェクト成果の概要

活動	期待される成果(合計)	第四四半期に達成された成果	達成された成果(合計)	達成率(%)
“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊による調査と撤去活動によって安全になった土地の面積	380,000m ²	121,452m ²	595,896m ²	156%
任務地域内で見つかった地雷とその他の爆発物の100%の安全な撤去と破壊	発見された全ての爆発物100%	対人地雷10発	対人地雷39発	100%
直接、間接受益者数(人数)	2,805人	10,348人	直接、間接受益者12,563人	448%

第四四半期成果のグラフィック



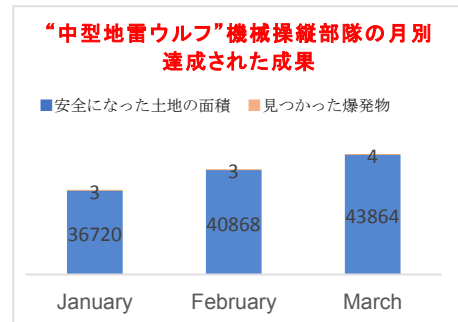
安全になった地雷原
121,452 m²



対人地雷 10
発の破壊



直接受益者 140 世帯、
615 名



事業成果とインパクト

キャッサバは、カンボジアでお米について、2番目に栽培されている作物となり、単年で10億米ドル以上の貢献をしています。2021年は、2,793,729.92トンのキャッサバを輸出し、前年の22.1パーセント増加しました¹。バタンバン州では、この商業作物を主導する生産地域で、その栽培と加工過程で数万人の人々を雇用しています。

バタンバンは、最も貧しい州であるだけでなく、カンボジアのなかで最も地雷で汚染された州のままで、85.5km²の土地が地雷で汚染されていると推定されています。MAGの撤去活動によって受益した人々の大多数は、必要最低限の食料(お米、キャッサバ、豆、トウモロコシ、マンゴー、カシューナッツ、トウモロコシ、唐辛子の栽培)のための農業と、主要な生計活動として非木材森林製品の収集に頼っています。インフラの弱い遠隔地にあるコミュニティでは、サービスへのアクセスが制限されています。地雷とその他の戦争残存物の汚染のために制限された農地の使用は、貧困削減と開発イニシアティブを妨げています。

テラ・ルネッサンスからの資金提供は、コミュニティのメンバーの大多数が、キャッサバ農地に頼って生活しているバタンバン州のサムロート郡とコッス・クラロー郡での、MAGの機械操縦部隊が人命救助をする地雷撤去を実施することを可能としました。この事業の期間(2021年4月-2022年3月)に安全になった土地は、バタンバン州の汚染されたコミュニティの595,896m²で、影響を受けたコミュニティの生計に大きなインパクトを与えました。MAGのノン・テクニカル・サーベイ・チームによる撤去前のインパクト評価によれば、安全になった土地は、すべてキャッサバやその他の作物の栽培に使われる予定です。

追加情報

MAG は、パンデミック期間中を通じて、パンデミック(制限と発生)の悪影響、特に私たちの活動に与える影響を緩和するために、活動のサイクルを柔軟にすることを確認し、保健局によって指導された規定に事前に注意をはらうことで適応し、引き続き次の四半期においても継続して実施する予定です。

事業の写真

下の写真は、“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊によって、今四半期中にバタンバン州サムロート郡とコッス・クラロー郡で実施された活動を示しています。

¹ 2022年1月13日に農林水産省が発表したデータ。

写真 1: ”中型地雷ウルフ”機械操縦部隊が、バタンバン州サムロート郡オウ・クラオム村にある地雷原(BS/CMAA/09378)での撤去活動をしている様子。



写真 2: ”中型地雷ウルフ”機械操縦部隊が、バタンバン州コッス・クラロー郡プレイ・トウン村にある地雷原(BS/CMAA/07141)で撤去活動をしている様子。



写真 3: ”中型地雷ウルフ”機械操縦部隊によってプレイ・トゥン村にある地雷原での活動中に見
つかり、破壊された対人地雷。

